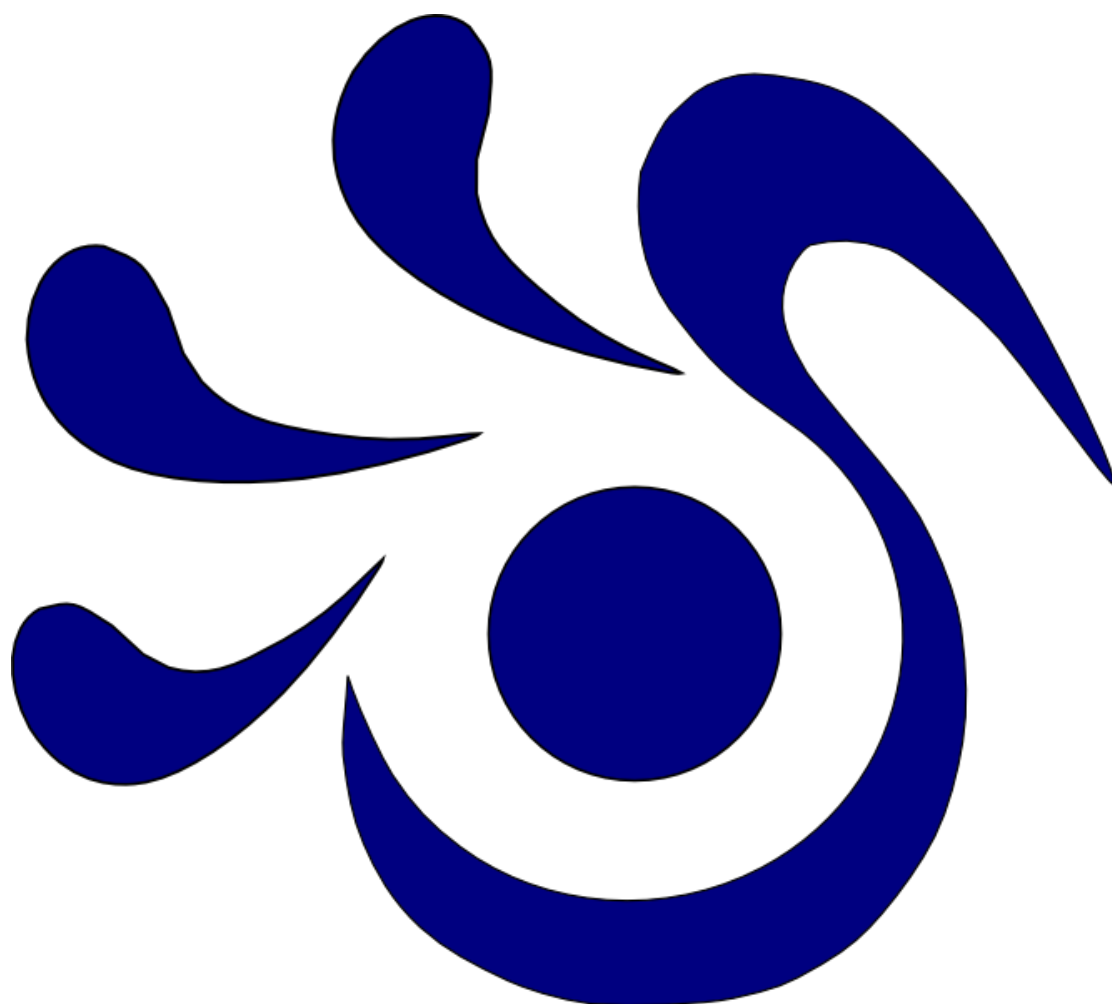


mizuma

河泉会 広報誌

第 26 号 / 2016 年 7 月



KASENKAI

発行：河泉会（大阪河崎リハビリテーション大学同窓会）

巻頭言

「ただいま！河崎学園」



理学療法学専攻 助教 中尾英俊

河崎学園 OB・OG の皆様、大変ご無沙汰しております。また平素より本学の学生が臨床実習等で大変お世話になっております。

私は河崎医療技術専門学校 2 期生として卒業し、昨年 14 年ぶりに教員として戻ってきました。教員の経験は今までたった半年間と浅く、新人の戯言でございますが、学生と接するなかで感じたことをこの場を借りて述べたいと思います。

医療系の学校は資格を取るまでのハードルが何個もあります。OB・OG の先生方も学生の時には、何個かつまずくと留年が頭にちらついたり、国家試験に落ちるかもしれないと悩んだりしたのではないのでしょうか。私自身も学生だった頃、出来がいい方ではありませんでしたので、思い当たる節は数えきれません。いざ自分が教員になると、当時の先生は大変尽力して下さったのだと、改めて感じます。

内田樹は著書『下流志向』の中で、リスクヘッジをとれない日本人が多いと述べています。リスクヘッジにはリスクを回避する意味合いがあります。学生生活に生じるこうしたリスクの連続を乗り越えていくには、モチベーションの持続力と、緊張と緩和のメリハリが重要だと感じるのですが、それを「感じない」「出来ない」学生さんが多いようにも思います。

臨床実習が始まる数か月前にやっと覚醒する学生がいますが、やはり学内での勉強や実技の積み重ねがないと、実習では苦勞の連続となります。さらに長期実習になると、付け焼刃では学習内容が薄いこともばれてしまうので、学内で培った努力の量が経験値と結果に大きな差となるようです。これを改善するために、リスクを如何に気づかせ、モチベーションを上げるかが私自身の課題でもあります。

学生自身に生じるリスクを乗り越えることができるのは、成功体験によって起こるモチベーションの向上が絶対に必要ではないかと思います。OB・OG の先生方には、多くの学生の実習指導をお願いしております。実習では多くの経験を通じて、学生自身が成長を感じることができるようになれば、おのずとセラピストとしての能力や社会性が向上できると考えております。

読売新聞の橋本五郎氏は、ジャーナリストには「健全な相対主義」と「適度な猜疑心」が必要であると述べています。世の中にはさまざま価値観があります。誰かが絶対正しい、誰かが絶対に間違っていることはあり得ず、いつも限界を見据え、自分のやっていることは正しいのだろうかという懷疑の気持ちが必要とされます。リハビリテーションを実践する上でも、このことは重要だと思います。

とはいうものの、私自身、臨床の時に仕事に慣れが生じ、惰性で物事が進むことがあります。実習生に対しても同じで、片手間になってしまう時があり、モチベーションが低下していることに気づきます。教員としては、今のところ緊張の連続です。社会における立ち位置を理解しつつ、自分がしていることへの猜疑心をもって学生指導にあたりたいと思います。OB・OG の先生方には私と河崎学園の後輩達に、熱い河崎魂を注入していただければ幸いです。これからもよろしくお願いします。

平成 27 年度 会計報告

平成 27 年度収支決算総括表

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 20 日

科目	一般会計	特別積立金	会計
1. 収入の部			
会費収入	221,000	0	221,000
当期収入合計	221,000	0	221,000
前期繰越収支差額	4,834,985	0	4,834,985
収入合計(d)	5,055,985	0	5,055,985
2. 支出の部			
管理費	82,138	0	82,138
事業費	425,863	0	425,863
当期支出合計(e)	508,001	0	508,001
当期支出差額	-287,001	0	-287,001
次期繰越収支差額(d-e)	4,547,984	0	4,768,984

単位: 円

河泉会ロゴマークについて

平成 27 年度総会にて、河泉会ロゴマークは下記のマークに決定致しました。
デザイン案は、医療法人穂仁会原病院 水野嘉明先生（専門学校 2 期生）のものです。



平成 28 年度 予算案

平成 28 年度 河泉会予算案

会計期間:平成28年4月1日～平成29年3月
(単位:円)

1. 収支計算

(歳入の部)

項 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
1. 会費				会費 2万×24年度の入会人数
2. 賛助会費				大阪河崎リハ大学広告費
3.講演会参加費				
4. 繰越金				
合 計				

(歳出の部)

1. 管理費	各委員雑費	30,000			事務費
	理事会費	60,000			会議費、交通費
2. 機関誌・郵送費	機関紙代	200,000			印刷代
	葉書・封筒代				葉書・封筒・タックシール代
	郵送代	100,000			郵送代
3. 講演会費	講師代	100,000			講師謝礼
	資料代	5,000			資料印刷代
4. 卒後教育 就職支援	講師代	120,000			スキルアップ/スキシツ講座講師謝礼×2回
	資料代	10,000			資料印刷代×2回
	泉華祭ブース代	20,000			学園祭準備代
合 計		645,000	0	645,000	

スキルアップ・スキンシップ講座 感想

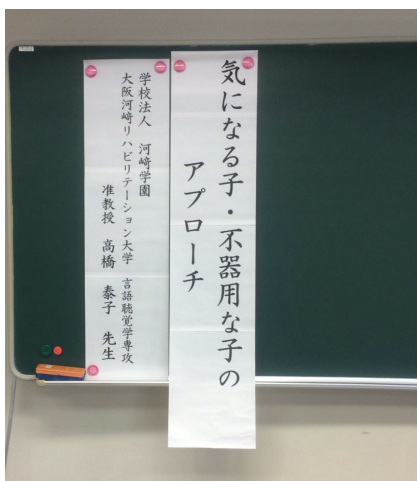
2016年3月20日(日)、『気になる子・不器用な子のアプローチ』というテーマでスキルアップ・スキンシップ講座を開催し、大阪河崎リハビリテーション大学 言語聴覚学専攻 准教授 高橋泰子先生に講義して頂きました。今回は田崎先生から感想を頂きましたので紹介致します。

大阪河崎リハビリテーション大学作業療法学専攻 助教
田崎史江(作業療法学専攻2期生)

平成28年3月20日(日)に開催された「スキルアップスキンシップ講座」に参加させていただきました。講師は大阪河崎リハビリテーション大学言語聴覚学専攻 准教授の高橋泰子先生で、「気になる子、不器用な子へのアプローチ」というテーマでのご講義でした。高橋先生は小学校・幼稚園・特別支援学校の教員免許を取得されており、大学で教鞭をとられる一方、発達障害児の教育現場への巡回相談や自立活動のための巡回指導を行われています。学校現場で「気になる子」というのは「こだわりが強く、周囲に関心が薄い」「気が散りやすく集中できない」「身体を協調的に動かすことが苦手」という児童が多いそうで、現在はこのような症状はDSM-Vによると「神経発達障害」という小児の精神障害に分類されるようです。この神経発達障害のなかで「コミュニケーション症群」は更に5つの障害に分類されますが、その障害の1つ「社会的(語用論的)コミュニケーション症:SCD」は大学生にも多く見られるように思われます。小児の頃には見過ごされてきてしまったけれど、家庭や学校外の社会に出てから「あれ?何か変だ」と周囲が気づき、臨床実習などの外部研修に行ってから苦労している学生がいます。

「不器用な子」については映像で症例を見せていただきました。小学校入学時までにはできているはずの生活動作が、全くできないわけではないのだけど正確さとスムーズさに欠けています。高橋先生は、こういう動作に対しては、具体的にできないことにアプローチするのではなく、できない理由を見極めることが必要であり、まずは身体疾患の有無、基礎感覚の正常性、脳の機能障害の有無などを確認することだと言われました。また、乳幼児の運動機能の発達には大きく環境因子(子育てをする母親の状態、過保護な祖父母、一人っ子、保育士の理解など)が影響してくるようです。高橋先生は、学校現場に巡回に行かれた時にSTの職域以外の助言を求められることが多いと話されていました。セラピストになれば、自分対患者様(または支援を必要とされている人)であり、そこに「私はSTだから(OTやPTの担当するような内容は)わかりません」とは言えず、広い知識を持って対応することが求められます。高橋先生のお言葉を聞いて、大阪河崎リハビリテーション大学ではリハビリテーションの3専攻が揃っているのも、こうした発達障害に対しても専攻の垣根を越えて学べるという利点があります。卒業生や在校生が専攻を超えて広く学び、患者様を診る目が広がると思いしました。

貴重なご講演をありがとうございました。



河泉会 理事会 議事録

2016 年 2 月

H27 年度スキルアップ講座について

- ・日時、講師、テーマ、会場の決定。

H27 年度 総会について

- ・日時：3 月 20 日（日）13 時 30 分～
- ・議題は①河泉会のロゴマーク②会計報告③次年度の活動予定

2 月機関紙について

- ・平成 27 年度 2 月号完成。封入・郵送作業を行っていく。

泉華祭について

- ・平成 28 年 9 月 24 日（土）で決定。

記念事業について

- ・平成 28 年 11 月 6 日（日）法人 20 周年・大学 10 周年記念式典を開催。

2016 年 4 月

H28 年度スキルアップ講座について

- ・8～9 月頃と 3 月頃の 2 回を予定。中枢疾患・整形疾患足部領域について依頼している。

7 月の機関紙について

- ・記事内容の確認

特別講演会について

- ・現在、講師を依頼中。

泉華祭の催しについて

- ・平成 28 年 9 月 24 日（土）で決定。内容は企画で検討し、6 月の理事会で報告。

記念事業について

- ・機関紙に掲載することが決定。

2016 年 6 月

H28 年度スキルアップ講座について

- ・9 月、3 月の講座：講師ほぼ決定。今後内容打ち合わせを行う。

7 月の機関紙について

- ・記事内容の確認

特別講演会について

- ・日時・講師決定。内容・会場について打ち合わせを行う。

泉華祭について

- ・内容は、飲み物と焼き物で進めていく。

記念事業について

- ・記念講演、記念シンポジウムの内容の確認。

今後について

- ・学生に対して河泉会をアナウンスする場を検討する。
- ・広報手段を検討する。（HP や ML の作成・利用）

平成 28 年度 卒業生就職先一覧

理学療法学専攻

大阪府

池田病院
いぶきの病院
泉佐野優人会病院
大野記念病院
檜本病院
河崎病院
市立岸和田市民病院
佐野記念病院
高石藤井病院
多根総合病院
中谷病院
野上病院
藤井病院
耳原総合病院
森之宮病院

和歌山県

河西田村病院
紀和病院
琴の浦リハビリテーションセンター
白浜はまゆう病院
角谷リハビリテーション病院
名手病院
西岡病院
橋本市民病院
和歌山医科大学附属病院
和歌山生協病院

奈良県

東生駒病院

作業療法学専攻

大阪府

藍野花園病院
大阪リハビリテーション病院
葛城病院

河崎病院

岸和田徳洲会病院

児童発達支援センター和泉はつがの園

島田病院

野上病院

ベルランド総合病院

藤井病院

水間病院

南堺病院

耳原総合病院

八尾徳洲会総合病院

和歌山県

角谷リハビリテーション病院
名手病院
和歌山生協病院

奈良県

ハートランドしぎさん

言語聴覚学専攻

大阪府

愛仁会リハビリテーション病院
浅香山病院
河崎病院
馬場記念病院
藤井病院
八尾はあとふる病院

和歌山県

愛徳医療福祉センター
海南医療センター
貴志川リハビリテーション病院
国保日高総合病院
琴の浦リハビリテーションセンター
中谷病院
西岡病院

京都府

京都大原記念病院

静岡県

順天堂大学医学部附属病院

消息不明者・異動届けについて

下記の方の連絡先が不明の為、郵送物等をお送りできない状態です。心当たりのある方は住所、連絡先、または勤務先をお知らせ下さい。

連絡先：事務委員 岡本 拓希 okamoto_ha@yahoo.co.jp まで

理学療法学

専門学校 1 期卒	西川 吉昭	専門学校 2 期卒	北林 めぐみ
専門学校 4 期卒	岸本 菜津美	専門学校 5 期卒	橋本 直子
大学 1 期卒	奥埜 安里沙	大学 6 期卒	江口 隼矢、杉山 佑也
大学 7 期卒	宮地 剛史、則岡 優佑		

作業療法学

専門学校 1 期卒	飯澤 宣尚	専門学校 6 期卒	高内 健作
専門学校 7 期卒	植山 翔太郎、萬関 ひとみ	専門学校 8 期卒	富岡 さゆり
専門学校 9 期卒	小西 美希	大学 3 期卒	向井 幸

言語聴覚学

大学 1 期卒 山之口 友樹

住所・勤務先 変更された方へ

住所・勤務先変更されましたら、郵送物の宛先変更の手続きが必要なため、異動届けを提出して頂く必要があります。下記の方法で御連絡ください。

- ①大学ホームページへ移動
- ②ホームページ右上 『卒業生の方へ』 をクリック
- ③『卒業生の方へ』 のページ下にある『同窓会 「河泉会」』 をクリック
- ④『入会届および住所変更など異動届のお願い』 に記載されている方法をご参照の上、メールアドレスまでご連絡ください。

学校法人河崎学園創立**20周年**！ 大阪河崎リハビリテーション大学 開学**10周年**を迎えます！

記念式典のご案内

“夢”の実現に向かって、次のステップへ

日時

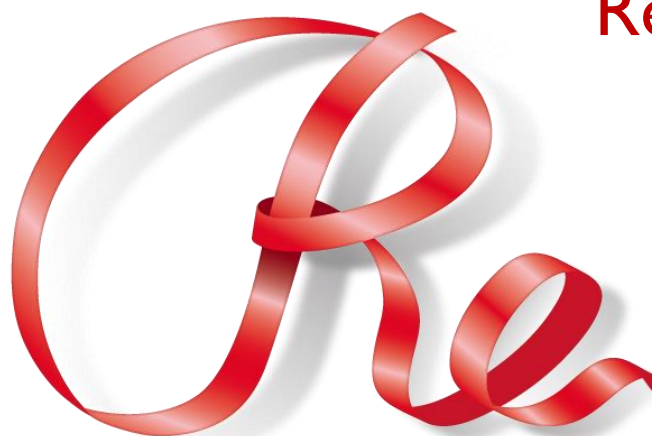
平成28年**11月6日**(日) 13:00～

- I. 記念式典
- II. 記念講演
- III. 記念シンポジウム
- IV. 交流会など

会場

大阪河崎リハビリテーション大学

懐かしい面々と和やかなひとときを楽しんでください。
平服でお気軽にご参加ください。



Rehabilitation ⇄ Rebirth

「Re」でつながる私たちの想い

河崎学園は2016年で、20周年を迎えます。これもひとえに河泉会の皆さまのお力添えのおかげと、深く感謝しております。皆さまにおかれましては、各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。

今後も、本学の学生が皆さまにお世話になることが多々あるかと存じます。どうか一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

大阪河崎リハビリテーション大学

● 理学療法学専攻 ● 作業療法学専攻 ● 言語聴覚学専攻

河泉会の皆様へ

河泉会では年2回（1月・7月）広報誌を発行しています。広報誌に掲載する記事を会員の皆様から受け付けています。内容・字数には制限はありませんが、主に下記の内容を考えています。河泉会活動の活性化のためにも振るって投稿して下さい。

- ・ 学術的な内容
- ・ 紀行文
- ・ 河泉会活動に対する提言または意見
- ・ 勉強会案内
- ・ 医療に関するトピックス

《 連絡先 》

本道 大地（医療法人大植会 葛城病院 リハビリテーション部 理学療法課）

原稿の送信方法は本道まで直接メールをお願いします

連絡先：hondai0807@yahoo.co.jp

河泉会ブログ案内

勉強会の案内や卒業生が企画する勉強会・定期的な理事会などブログでも更新していきたいと思います。

河泉会 ウェブリブログ×

Q 検索

<http://41413452.at.webry.info/>

携帯電話では右のQRコードも使用可能です。



住所・勤務先 変更された方へ

住所・勤務先変更されましたら、郵送物の宛先変更の手続きが必要なため、異動届けを提出して頂く必要がございます。下記の方法で御連絡ください。

- ①大学ホームページへ移動
- ②ホームページ右上『卒業生の方へ』をクリック
- ③『卒業生の方へ』のページ下にある『同窓会「河泉会」』をクリック
- ④『入会届および住所変更など異動届のお願い』に記載されている方法をご参照の上、メールアドレスまでご連絡ください。

編集委員

新立 勇一（理学療法学科9期卒）
鶴井 明弘（理学療法学専攻4期卒）
竹林 弘平（作業療法学専攻2期卒）

本道 大地（理学療法学専攻2期卒）
福本 竜太郎（理学療法学専攻4期卒）
林 晃奈（言語聴覚学専攻4期卒）

発行責任者

河泉会会長：松田 洋平
（理学療法学科1期卒）